



Web サービス アダプタ ご紹介

2021年8月版

株式会社セゾンテクノロジー

製品概要

DataSpider Servista	DataSpider Cloud
○	○

○ …提供あり / — …提供なし

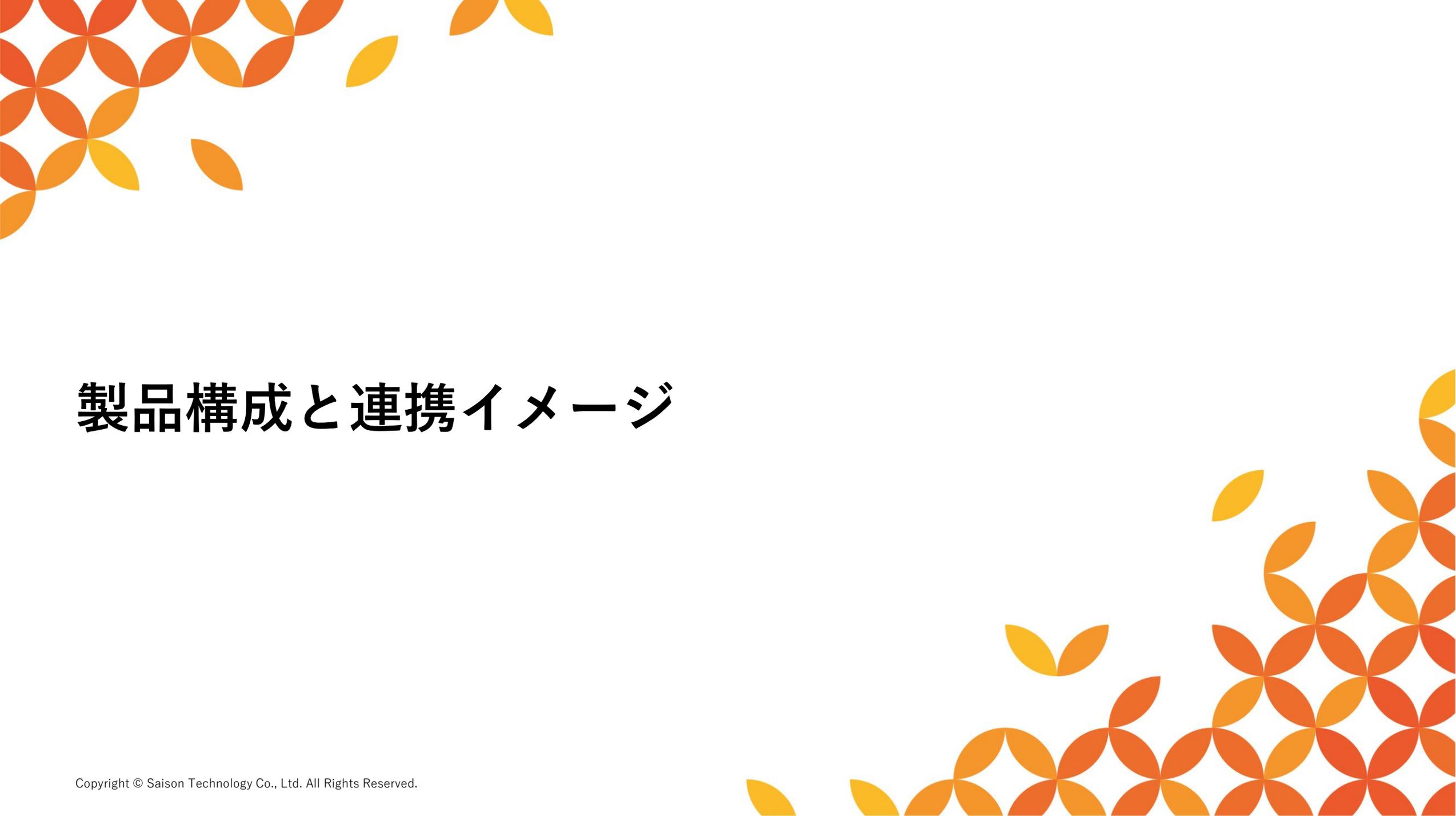
「Webサービス アダプタ」とは

指定したWSDLを元にSOAPを用いてWebサービスを呼び出しデータを連携することができるアダプタです。

主な特徴

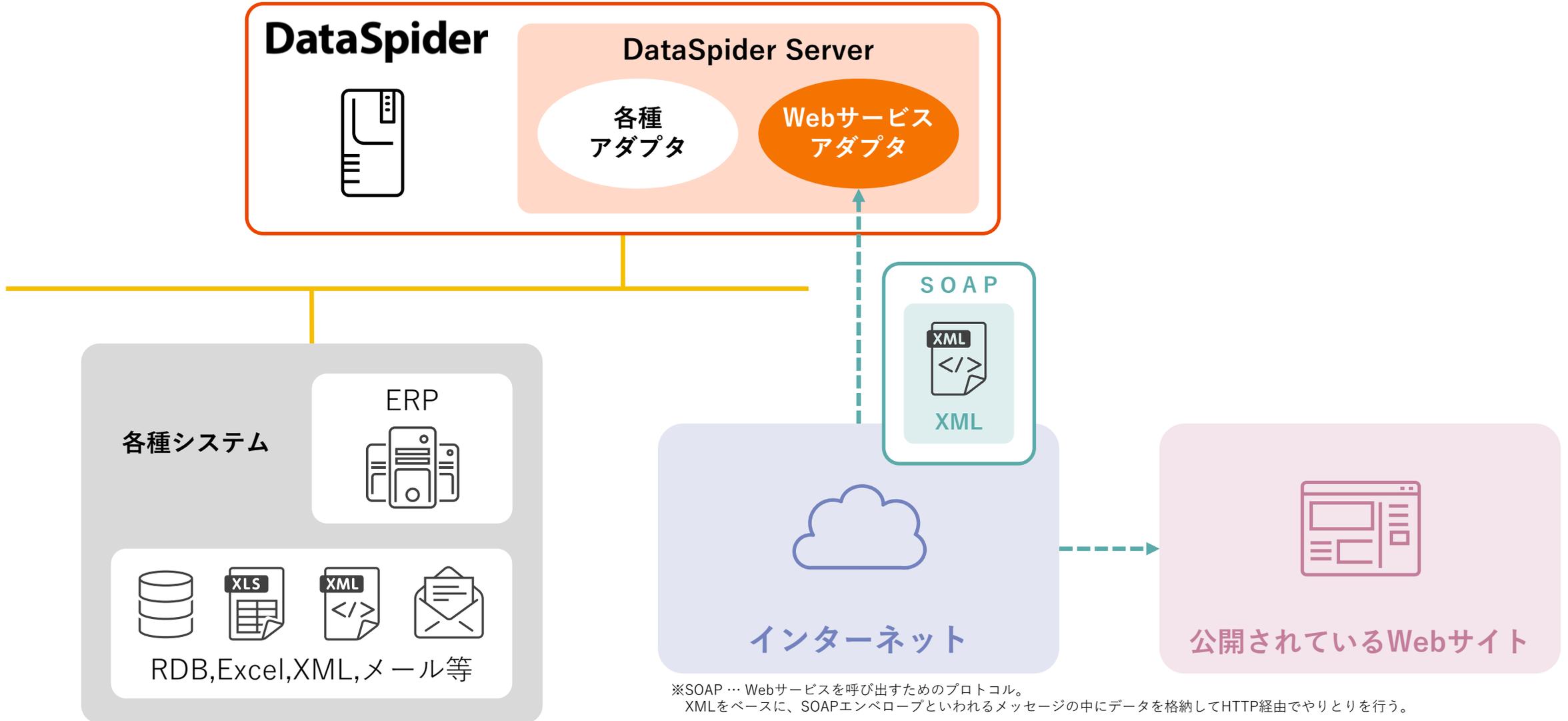
- ・ SOAPを利用した通信が可能
- ・ WSDLを解析し設定に必要な情報を表示
- ・ SOAPエンベロープを手動で設定可能
- ・ 入力データの送信/結果データの取得が可能
- ・ クライアント証明書が必要な接続先に接続可能
- ・ 添付ファイル付き SOAP メッセージ (MIME) の送受信が可能

*WSDL (Web Services Description Language)



製品構成と連携イメージ

製品構成と連携イメージ：Webサービスアダプタ





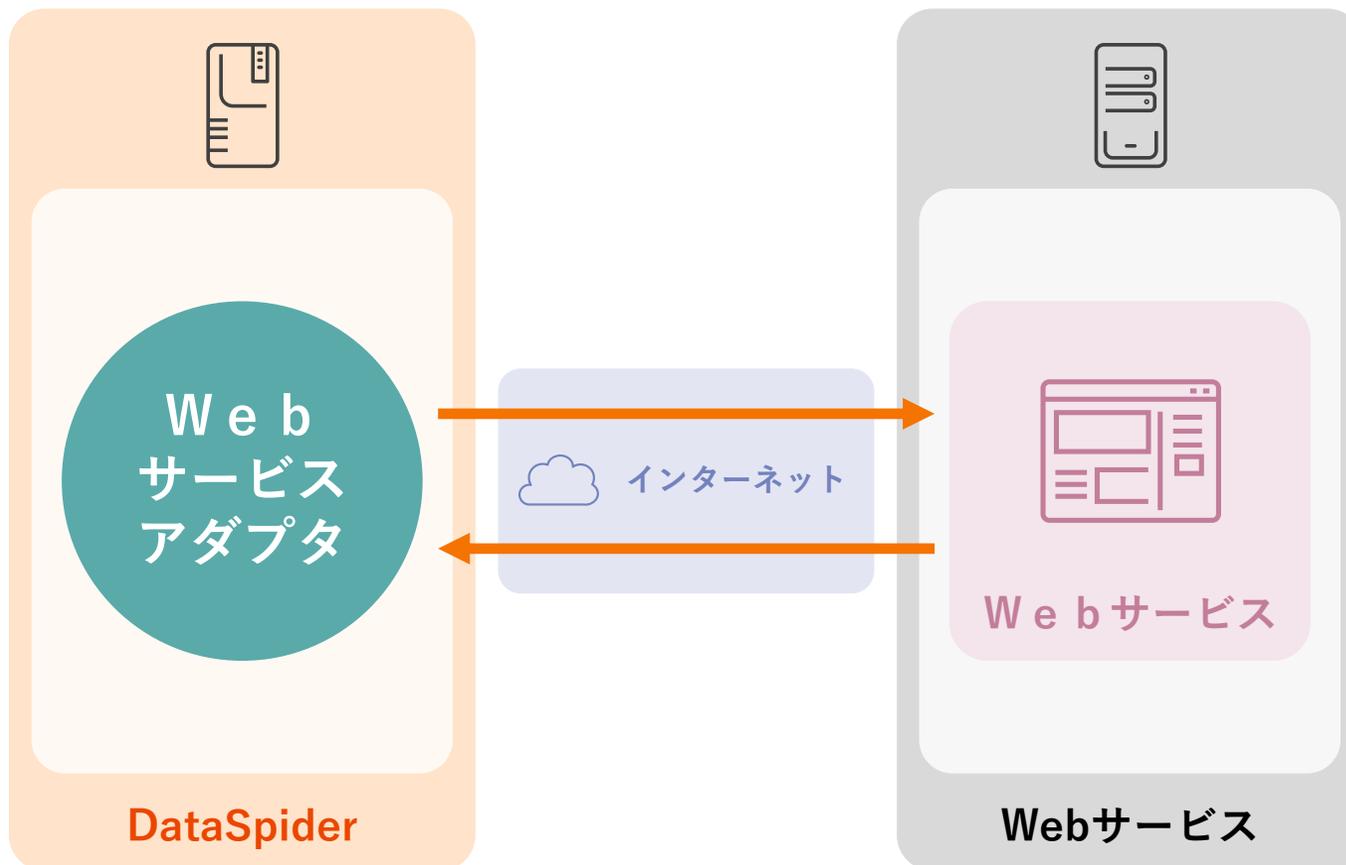
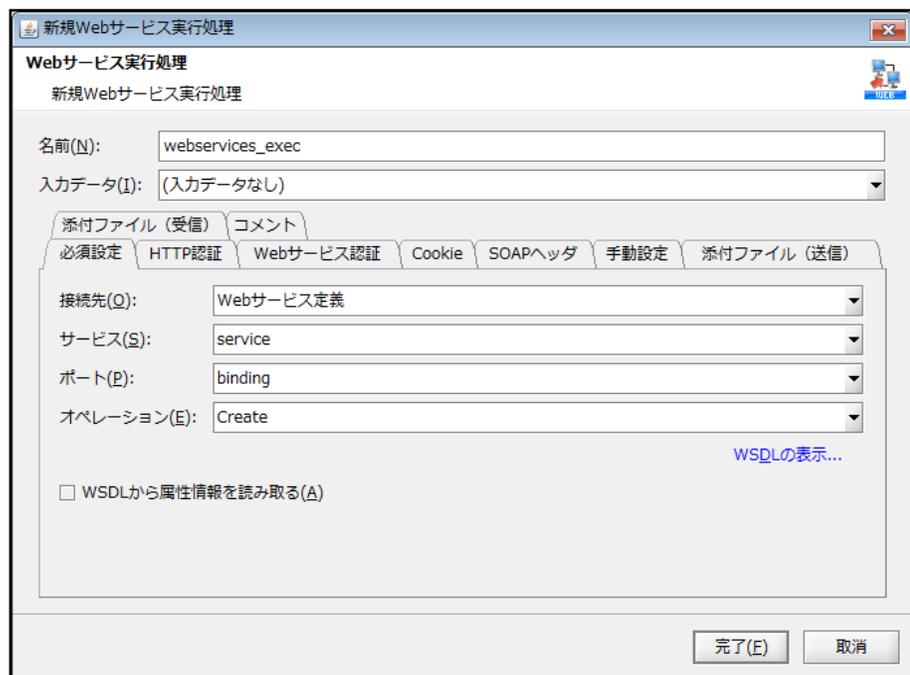
各種処理の設定

※当資料のスクリーンショットは、DataSpider Servistaを使用して取得しています。

Webサービス実行処理

設定されたWSDL、サービス、ポート、オペレーションを元にWebサービスを呼び出します。

※「手動設定」にて直接SOAPのエンベロープを手動で設定することが可能です。



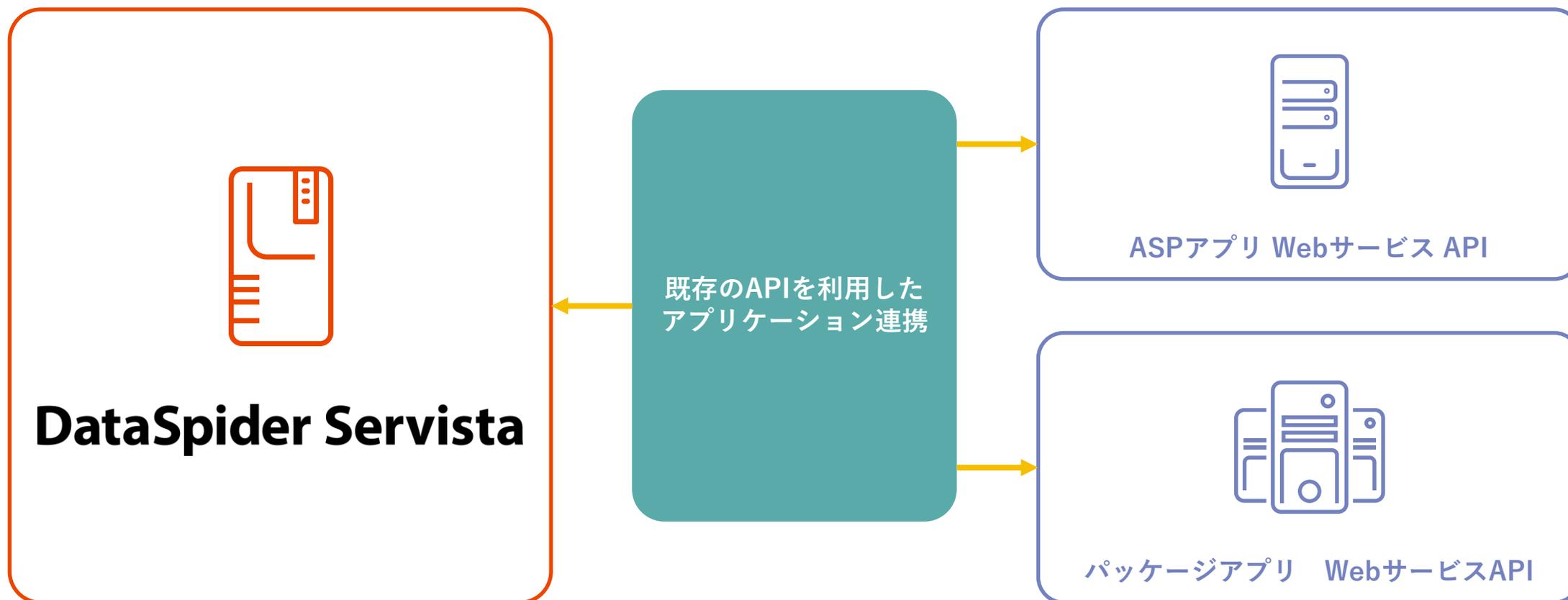


適用パターン

適用パターン

■ 既存アプリケーションとの連携

異なるアーキテクチャであるアプリケーション同士をWebサービスで連携



Webサービスアダプタ導入メリット

1. 様々なアプリケーションとの連携

- アプリケーションとの疎結合での連携が可能
- ASPなどとの連携も可能
- JavaのAPIが公開されていなくても連携が可能

※アプリケーション側でWebサービスが公開されている必要があります。

2. インターネット経由での連携

- Webサービスを利用してインターネット経由での連携が可能

3. SOAによるシステムの構築

- Webサービストリガーと組み合わせることによりサービス構築ツールとして利用
- 大規模ではないシステムに対してもSOAを適用



HULFT

Move knowledge. Move markets.